

経営比較分析表（平成28年度決算）

香川県 三木町

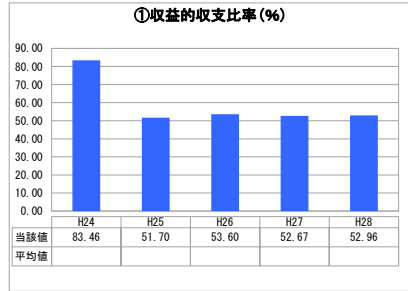
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 農業集落排水 | F3 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円) |
| - | 該当数値なし | 2.26 | 90.00 | 2,681 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 28,604 | 75.78 | 377.46 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 647 | 0.45 | 1,437.78 |

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



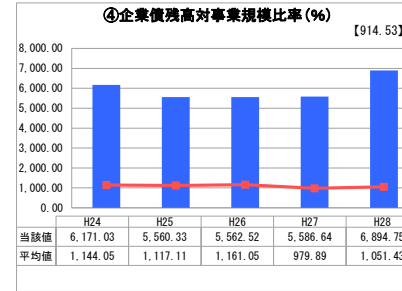
「単年度の収支」



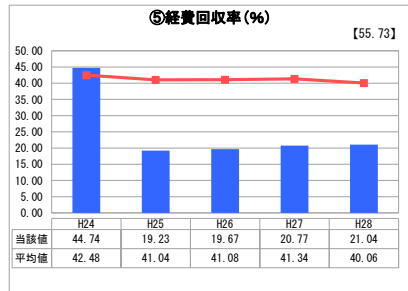
「累積欠損」



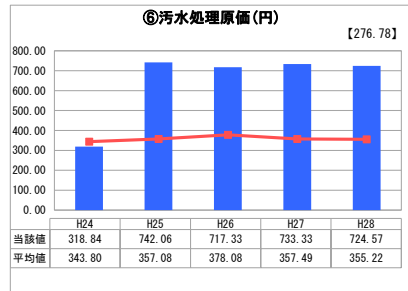
「支払能力」



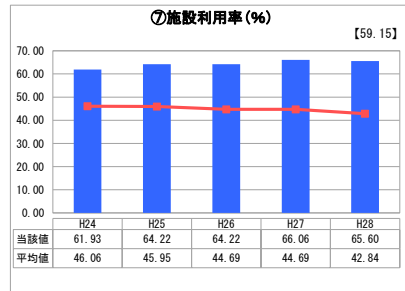
「債務残高」



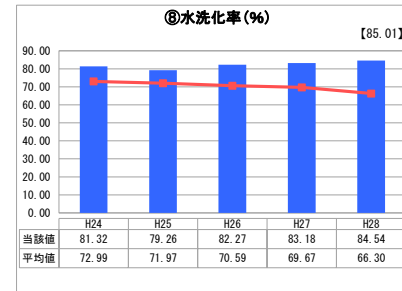
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

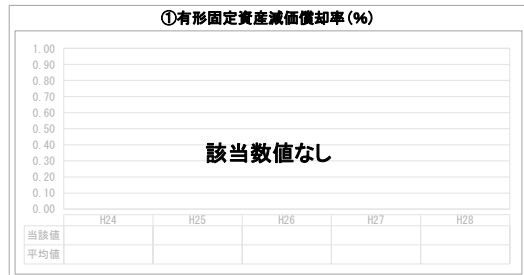


「施設の効率性」

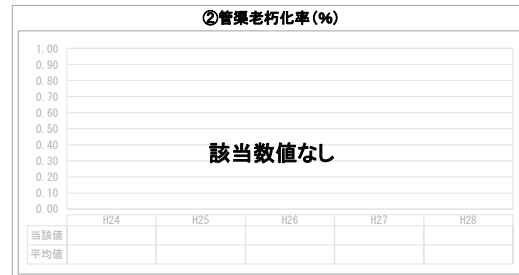


「使用料対象の捕捉」

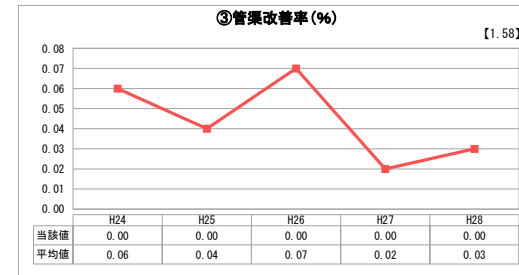
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
 ⑤経費回収率
 現在整備を進めている井上南部地区（平成29年度供用開始予定）、三木東地区（平成31年度供用開始予定）の供用開始前施設に係る地方債元金の償還が平成25年度より本格化したことに伴い、比率が低下し、類似団体平均値を大きく下回っています。
 なお、未供用地区（井上南部地区・三木東地区）については、他事業（公共下水道）に編入され供用されるまで、農業集落排水事業が公共下水道事業に移管されるまで、同様の経営状態が継続することが予想されますが、本町の下水道事業全体の経営状態としては、未供用地区の供用開始に伴い使用料が徴収されることにより、改善が図られると考えています。

④企業債残高対事業規模比率
 ⑥汚水処理原価
 供用開始前施設に係る地方債が含まれていることから類似団体平均値に対し、比率、原価が高くなっています。
 ⑦施設利用率
 ⑧水洗化率
 平成14年度に供用開始した井上北部地区については、施設利用率、水洗化率ともに類似団体平均値を上回っており、比較的効率よく施設が稼働しています。

2. 老朽化の状況について

平成14年度に供用開始している井上北部地区における管渠施設については、耐用年数を超過していないため、これまでにクラック、破損及び腐食等管渠の劣化は確認されておりません。比較的耐用年数の短い機械・電気設備については、更新および修繕時期が一時期に集中することを避けるため、修繕の必要性、緊急性、優先度を総合的に判断し計画的な機器更新及び修繕を行なっています。

全体総括

供用開始している井上北部地区については、今後も、引き続き適切な点検や診断により、処理施設の長寿命化工事を行うなど更新費用の平準化を図り安定した経営に努めます。
 現在、整備を進めている井上南部地区、三木東地区についても、国・県からの補助金のほか、地方債の借入、一般会計からの繰入金の充当により建設費を進めています。下水道施設の整備には多額の費用を必要とするため、より効率的かつ計画的に整備を進めていく必要があります。
 今後、供用を開始する2地区については施設利用率及び地区内水洗化率の早期向上に取り組みます。また、H32年度を目処に経営戦略を策定し、事業経営の健全化・効率化に努めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。